



経堂商店街振興組合

経堂あゆみ歯科クリニック

「なく大事なことだと思っただけです」
 大学卒業後は障害者歯科に所属しながら、都内や神奈川県内の他の歯科医院で週に3、4日は勤務、たくさんの患者さんと出会い、臨床経験を積み上げてきました。また、自身が母親となったことで、小児歯科への熱意もより高まったそう。そして一昨年、地元にて自身の理想を詰め込んだ同クリニックを開業しました。
 「安心していただける雰囲気づくり、丁寧な説明をして肝心の治療ですが、麻酔を37度に温めて注射する、極力細い注射針を使用するなど痛みへの配慮を最大限に工夫しています。『歯医者さんのイメージが変わった。これくらいの痛みなら大丈夫』なんて言っていたら心からほっとします」
 「慣れている先生にずっと診てほしいから」と当時勤務医であった出井先生を頼って遠方から御家族で通院している患者さんもいるそう。
 「地域のかかりつけ医、歯科治療の駆け込み寺のような医院になることが目標です。何年も何十年も歯科医院に行かれてなかった方、『今更恥ずかしくて見せられない』なんておっしゃらずに是非私に診せてください。症状が悪いほど、医師として腕の見せどころになりますから。意を決して予約をしてくださった患者さんのお気持ちを大事にしっかり向き合っていますので、どうぞ頼っていただけたらと思っています」



このインタビューは2024年9月23日、ウェブマガジン「あきない世田谷」にて公開したものです。コロナ禍、世田谷の商店街に誕生した「あたらしい店」の魅力をお伝えしています。



<https://akinai-setagaya.com/>



「あきない世田谷 世田谷のあたらしい店 vol.62」 2024年9月発行
 発行 / 世田谷区商店街連合会



経堂あゆみ歯科クリニック

「間診票でこれまでの治療経験を伺っているのですが、『何の治療をされているかわからなくて怖かった』、『治療が痛い』ともいえる不安な雰囲気じゃなかった、嫌な思いをされてきた方は決して少なくありません。歯科医院が大きな苦手になってしまえば、症状がひどくなるまで我慢して我慢して、結果治療が長引きより嫌いに、という悪循環はとて残念です。治療を提供する立場とはいえ、医師側の都合ではなく患者さんの立場に立って気持ちを考える、という部分が大事だと常に肝に銘じています」
 出井先生のお父さまも歯科医。生き生きと仕事に取り組む、患者さんに慕われ続けたその姿を見て育ち、中学1年生のときには自然と同じ道を歩むこと決めていたそうです。高校生になると福祉分野にも興味を持ち、夏休みには重度の障害のある方の自宅に通い、食事づくりや買い物も介助するボランティアを経験しました。福祉系の道への思いも高まるなか、神奈川県立歯科大学に進学、障害者歯科を専門に学びました。
 「障害者歯科での学びと経験が今日の医師としての土台になっています。恐怖を取り除いて少しでも前向きに治療に向き合ってもらうため、治療方針や治療方法をご理解いただけるように丁寧に説明する。障害の有無や年齢に関係

住 世田谷区宮坂 3-20-3 名倉堂ビル 1F
 ☎ 03-5799-6474
 営 9:00~13:00 / 14:00~18:00
 休 木曜・日曜・祝日
 🌐 <https://kyodo-ayumi-dc.com/>
 📷 [kyodo_ayumi_shika_clinic](https://www.instagram.com/kyodo_ayumi_shika_clinic)



「怖い」「痛い」「長い」といったマイナスイメージがつきものの歯科治療。障害者歯科に精通した院長は、その不安要素を医師側の努力で精一杯取り除き、歯科医院から足が遠ざかる人をひとりでも減らしたいと考えています。小田急線経堂駅から徒歩3分、すずらん通りに面した同クリニック、バリアフリーを重視した院内環境、最新の医療機器、丁寧な説明、治療での配慮をもって「通いたくなるような歯科医院」の確立に邁進しています。

※営業時間、定休日など変更されている場合もありますので、お店のウェブサイトなどで確かめください。